

# III 石器と道具

## III-①

### 石器にはどんな種類があったのだろうか？

岩宿（旧石器）時代の代表的な道具は、石から作られた石器です。石器は、その作り方や形、そしてその使用方法などから区分されています。狩りの道具と考えられるナイフ形石器、石槍などのほか、木などを削る削器、皮なめしに使った搔器、骨や角を削るための彫器など、モノを加工するための石器、木などを切るための石斧、肉や皮をきる「ナイフ」、石器を作るときに使う敲石などいろいろな種類がありました。また、小さな石器を組み合わせて使う細石器も最後の時期に発達しています。これらの石器は、そのまま手に持って使うものもありましたが、木の柄につけたり、骨や角に埋め込まれたりして使ったものもありました。

